



進むデジタル教育

問・(市)学校教育課
・教育センター ☎83-2020

今月号の特集（2,3ページ）でも紹介した三木市の新たな教育の形。市内の全学校に計1,140台のタブレットを導入し、10月から授業での活用を開始しました。今回、授業でタブレットを活用している先生に導入後の変化などについて伺いました。

授業をよりスピーディーに進められます

タブレットを導入する前は、児童が考えたことを把握するため、全員分のノートを集めたり、教室中を歩いて回ったりする必要がありました。今では、児童がタブレットに書いた内容を私の端末でリアルタイムで確認できるため、児童一人一人が考えていることを、より把握しやすくなりました。児童の中には、発表が苦手なだけで素晴らしい考えを持っている子もいます。一人一人が考えていることを以前よりも授業で活かせるようになったことがタブレットを導入して一番良かったことだと思います。



4年生担当
山口先生

児童の思考がさらに広がることを期待しています

タブレットを導入して変わったと感じることは、児童が自ら作った新聞などの成果物に、より興味・関心を持ってくれたことです。タブレット導入後、疑問に思ったことを手軽に調べられるようになったことや児童間での考えや意見の共有などをしやすくなったことで、より深い思考の中で新聞などの作品ができていくからだと考えています。教師にとっても、以前はプロジェクタのそばで説明をしていたデジタル教科書の内容を、児童の横で、一人一人の理解度を確かめながら取り扱えるようになったので、授業が進めやすくなりました。



6年生担当
武田先生

三木市の情報をSNSやスマートフォンアプリで配信しています。下記QRコードを読み取りアクセスしてください。



イベント、季節の見どころなど三木市の旬な情報や防災情報を発信します。



各部ごとの市政情報のほか、防災情報、図書館情報などを発信します。



アプリをダウンロードし、お住まいの地域を「兵庫県三木市」に設定するとスマートフォンに広報みきが届きます。



編集発行:

三木市総合政策部秘書広報課 ☎0794-82-2000(代)

〒673-0492 上の丸町10番30号

https://www.city.miki.lg.jp/

広報みきは新聞折込(日刊紙)、宅配でお届けしています(点訳版・音訳版もあり) 新聞購読の方や点訳版・音訳版をご希望の方は(市)秘書広報課までご連絡ください。

人口 (10月末現在)

男: 77,275 (16)

女: 37,436 (6)

世帯数: 39,839 (10)

(+40)